

# 市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成24年4月17日（火）午後6時30分～8時20分  
 【会 場】南コミュニティセンター  
 【対象地域】緑町、扇町、南町  
 【出席者】54人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
<p>経済部・ 保健福祉部</p>	<p>こども園については、新聞報道で認識している程度です。いろいろな指摘がありますが、その中でも多いのが「園庭が狭くなるのではないか」ということです。緑町児童館を利用する小学生で、外に出て遊ぶ子どもは本当に少ないです。そういう面から言えば、園庭の面積はそれほど神経質に考える必要はないのではないかと感じています。園庭を利用する日数は、365日の内、休日や雨の日を引くと100日足らずですから、あとは冬期間などの室内の利用となります。ですから、耐震性など建物にお金をかけて進めるべきです。園庭は600㎡あれば十分です。保育所の先生も園庭の広さに応じてカリキュラムを組むと思います。広ければ良いということではありません。園庭の草取りは大変です。園庭の管理は保育所の先生だけではできない。市もそんなに手が回りません。これから進めるにあたっては、地域のボランティアに期待しながら、お願いもしながら、建物はしっかりしたものにし、園庭はあるものを有効に使うということで、今の計画に賛成をしています。</p>	<p>【副市長】賛否を取っているわけではありませんので、ご意見として受け止めさせていただきます。</p>
<p>経済部・ 保健福祉部</p>	<p>今日の新聞報道で、一部は賛成意見であるとの見出しがありました。五条商店街のみなさんのようですが、何人くらい出席されて何人くらいが賛成だったのですか？</p>	<p>【市長】賛成とか反対とかそういう考え方で懇談会を進めているわけではないということをご理解をいただきたい。              市街地活性化計画の事業主体はふらのまちづくり会社です。昨年から実施している計画の中で、温浴施設を廃止するという報道がありました。その後、まちづくり会社で廃止を決定しました。</p>

保健福祉部

今回の懇談会は、賛成とか反対とかは度外視で説明をしているだけということで理解しました。

市内の幼稚園・認可外保育所の関係者が集まった中では、この構想については全員反対でした。保育所が総合こども園になると、幼稚園の子どもも受け入れることとなります。市内の4つの幼稚園はすべて定員割れしている中、ますます園児数の減少になります。認可外保育施設についても、経営を圧迫することになりますので全員反対でした。

今回の計画の構想を作り上げてきた国の研究部会に、民間の幼稚園や認可外保育施設のメンバーが入っていません。スタートからおかしいのではないかという意見を、先日の説明会で言わせていただきました。同年代の子どもを預かる立場からも、そのメンバーに入れていただいても良かったのではないかという思いが

最初に作った計画にはアトリウムが入っていて、温浴施設が廃止になりましたので、市の方にアトリウムで要請がありました。市としては、こども園の構想については、以前から第5次富良野市総合計画の中で、再編整備事業としてまちづくり委員会が検討してきた経過がありますから、街の中に賑わいを灯す状況があれば、それも一つの方向だということで、市として最終的な方向づけをしました。まちづくり会社に、総合こども園が適当ではないかということでお話をしたところ、まちづくり会社が五条商店会を含めた方々の全員の同意を得ているとお聞きをしましたので、それに基づいて進めてきたというのが現況です。商店街全体で150件程度の方がいますが、懇談会に出席されていたのはその内の15人ほどの方が出席していたと思います。新聞の見出しがそういう出し方になっていただけで、賛成・反対という問題ではないということでご理解を賜りたいと思います。

【保健福祉部長】昨年、地域の子育て支援の協議会で、幼稚園の方と認可保育所の代表の方に出席いただき、富良野市としてどうすべきかを協議させていただきました。当初は、全国的に幼稚園協会としても反対している話が出ていましたし、全国の保育士、保育所会も基本的に反対ということが情報として国の方にあげられていたということを知りながら説明させていただきました。その時点では、最終的にはどうなるかわからないとお話をさせていただいたと思っています。全国的な展開も含めて基本的に（こども園は）反対という認識は持っていましたが、国の状況を含め変化している中で、市が進めていくことについては反対という認識は持っていませんでした。協議会の中で、どういう話しをさせていただいたかと言いますと、市内4つの幼稚園と認可外保育所について、市として経営を圧迫しない経営方針を出さなけれ

経済部・  
保健福祉部

あります。そもそも、国が決めたことだからしょうがないと言え  
ばしょうがないですが、私たちからすれば、基本的にはこの総合  
こども園という構想には、国の方針自体に反対です。幼稚園・保  
育所は管轄する省庁が違う。幼稚園は教育基本法のカリキュラム  
にのっとった教育施設です。違いがはっきりしているものを一本  
化するのがそもそも無理なんです。国の幼保一体化の構想自体に  
反対ですが、こういう流れできてしまいましたので、将来どうな  
るのかわかりませんが。去年行われた会議の中で聞いた話では、  
「国はそういう方向を出しているが、大都市で待機児童抱えてい  
るお母さんたちが子どもを預けるところがないので、総合こども  
園とか認定こども園とかができてきているのであって、富良野市  
に待機児童は一人もいないので、国の方針とは違って地域に合っ  
たものを考えていかなければならない」という（市からの）お話  
でした。私たち民間には認可しないで、半年後に市が幼保一体  
化をやるということになったことに怒りを感じています。

中心市街地活性化ということで動き始め、そこに子ども園をも  
ってくるということは、どう見ても子育てには向いていないと思  
います。もっと自然の多い広いところで、子どもが思う存分走り  
回れる場所が良いと思います。まちづくりからすると一つには賑  
わいを持つということは見えますが、子どものために決して良い  
環境とは思いません。自然の多い中、アスファルトの中に無理し  
て木を植えたり池を作ったりしても、子どもたちは思いっきり遊  
べないと思います。建ててしまえば30年、40年と持たせるこ  
とを考えると、私は絶対に賛成できません。

今回は、南3丁目と南4丁目の間の話ですが、駅前から南4丁  
目までの開発の10年なり15年なりの将来像があって、その中  
の一つひとつとして作っていくという展望がぜひほしいと思

ばいけない、共存共栄を図りましょうというのが基本的な考え方  
で話をさせていただいていると認識していますので、ご理解をい  
ただきたいと思います。

【市長】考えは理解できないことはないです。麻町と中央保育所  
は建築してから40年近く経っています。耐震化されていないの  
で大きな地震がきたら崩壊してしまいます。二つを一つにする  
というこの機会に、耐震化することができます。

ヨーロッパでは、お年寄りの施設と子どもの施設が隣り合わ  
せています。小さい時からお年寄りと接する機会を多く作っ  
ているというのが外国の形態です。日本の場合は、核家族化が進  
んでおり、今のお父さんお母さんには、子どもを育てる上で足り  
ないものがたくさんあると思います。その足りない部分を、  
おじいちゃんやおばあちゃんにお手伝いをしていただき、まちぐ  
るみ地域ぐるみで育てていくという「人間づくり」が必要だと思  
います。賑わいも当然必要です。しかし、市だけがいいというこ

ます。

事故が起きてからでは済まされないので、ぜひもう一度考えてほしい。今の保育所でも3年や5年は持つと思いますので、それだけの年月をかけて考えてほしい。新聞を読むと、どうしても賑わいを作ろうという、子どもたちを「だし」に使うと言ったら悪いんですけど、商業主体の考え方のような気がします。将来を担ってくれる子どものために、もっと夢を持ってやんちゃな遊びができるような場所がほしいです。

とではなく、幼稚園や認可外保育所もありますので、そういう状況を総合的に考えていかなければならないと思います。また、利用する方が選択する時代にこれから入っていきます。サービスの良いところ、あるいは子どものしつけが完全にできるところ、あるいは親子の対話が少ないところはそれに代わってできるような状況を作れる施設など、親が選択できる状況づくりがこれから求められます。幼児教育については、民間と行政が争うような時代になっていくと私は考えています。ですからその中で、民間と行政の共存共栄を大きな柱にしていかなければなりません。もう一つは、お年寄りの施設があることによって、1カ月に何回かのふれあいの機会を作ることが可能です。子どもからお年寄り、お年寄りから子どもが学ぶということが今欠けています。過去の懇談会でもお話ししていますが、0歳から5歳までではなく、0歳から18歳までの子育てを行政と市民のみなさんが一体となって考えていくことが大事だと思います。富良野市は一つ誇れることがあります。協会病院は産婦人科医が2名体制になりました。これぐらいの規模の病院に2名体制は全道でもありません。小児科医を3名置いているところもないです。子どもが生まれてから18歳までのそれぞれの期間それぞれの立場で、みんなが関わって子どもを育てていこうというのが、富良野市の子育てを進めていく状況だと思います。

それぞれの立場の考え方は年齢によっても違います。ですから、いろんな方と意見交換をしながら決めていかなければならない。一部の偏った物の考え方だけでは決められないというのが私の考え方ですから、広くたくさんの意見を聞かせていただきたいというのが今の心境です。

【中心街整備推進課長】駅前再開発事業と中心街活性化との結びつきについて説明します。駅前再開発は、平成13年から平成2

3年の10年計画で始まりました。再開発事業と区画整理事業を取り組み、駅前広場やふらっとの整備を行う中で、個別店舗も再配置を行いました。この事業は、計画を2年前倒して平成21年に完了しています。この間に、平成19年に協会病院が駅東側に移転しました。これにより、今まで協会病院に来ていた方や働いていた方など、そこに集まる人約1,000人が別な方向へ行ってしまい、その結果、街が疲弊していきました。そこで、この跡地をどう活用していくのかということで、平成20年に新たな活性化基本計画を作りました。平成20年11月から平成26年3月まで5年5カ月の期間です。この基本計画に東4条街区市街地再開発事業が盛り込まれました。第1段階のフラノ・マルシェ、第2段階がネーブルタウンと言われる東4条再開発事業、第3段階がまち中駐車場ということで計画しています。この3つの事業を順番に行うことで、市民や観光客など人の回遊性を持たせる事業展開をしていこうという考え方です。建物を建てていくということだけではなく、それぞれの個別店舗を含め、地域の人々といろいろな事業に取り組み、街を回遊してもらえようシステム作りを含めて駅前に向かっていただく。五条通りだけでなく相生・リバーモール・本通り・すすらん通りなどの商店街全体に行き渡るようなソフト事業を展開しながら、富良野の街に活気を持たせるという考えで事業を進めているということで、ご理解いただきたいと思います。

【副市長】駅の市街地再開発が点で終わっていますので、ネーブルタウンなどあちこちに点を作って、点を線へと結び付けていきたいということが計画に盛り込まれています。街の方々がこの計画に対して、一生懸命に案を出して進めている最中です。

【市長】第3期計画の中に、公園整備もあります。駐車場や緑豊かな公園整備的なものの構想です。点から線に向け努力をしています。

保健福祉部	<p>そうだとすれば、やはりもっと離れた広い場所にこども園があれば良いと思いますが。</p>	<p>きたいと思います。</p> <p>【市長】建物が1階だけで860㎡というのは相当広いです。室内の広さは相当なものです。</p>
保健福祉部	<p>2階建ては危なくないのですか。私は、孫が来ても2階には上がらせないのに、落ちたらどうするんでしょう？</p>	<p>【市長】市内幼稚園は2階建てです。</p> <p>【保健福祉部長】計画では、建坪860㎡で2階建てにしようと思います。心配されていることについては、いろんなところを回って課題が出てきております。2階に子どもを上げないなどの意見はありますが、市が運営する上では安全面も含めて対応させていただくこととなります。建坪は860㎡ですが2階建てで1,770㎡です。麻町と中央保育所を合わせても、その面積はないです。運動会も年1回のことですので、別なところで行うというのも一つです。施設だけのことを考えれば、両方の保育所の定員が合わせて200名で、こども園は120名なのでどれだけ広いかということは想像できると思います。今後も、園庭も含めてさらに広げる方法はないのかということも、みなさんの希望に応えながら、どこまでできるのかを検討していかなければならない。そして、より良い施設を作って行きたいと考えていますのでご理解いただければと思います。</p>
保健福祉部	<p>4人の孫がいます。豊かな自然が多い中で、街の中にこども園を作る必要が本当にあるのかということがとても心配です。安全面・騒音・排気ガスの問題などを考え、子どもの健康面から、私は街の中に作るべきではないと考えています。それと、園庭はやはり狭いのではないかと。富良野に来られた方は自然が豊かで富良野のまちに住んでいて良いねと言います。あえて将来を担う子どもたちを狭い空間に・・・私には想像できません。弱い立場に</p>	<p>【市長】ご意見としてお伺いします。排気ガスだとか騒音については、私たちも勉強した結果をお話ししたいと思います。騒音は国が定める基準を下回っています。排気ガスもかなり基準を下回っています。ですから、そういうお話というのは「富良野は景色が美しくて空気がおいしいところではないですよ」と全国に言っているのと同じことです。言葉の使い方によってはすごく影響を与えるということが一つあります。それと、街の人はそこで何十</p>

<p>総務部・ 保健福祉部</p>	<p>ある子どもたちを守るのは私たち大人です。あえて危険な街の中に施設を作る必要があるのかと考えています。</p> <p>国の基準とは言っても、健康面からいうとどうかと。</p>	<p>年も生活していますので、当然そういう声を上げてこなければなりませんよね。大人ばかりでなく子どももたくさん住んでいます。日々生活もしています。現実的に生活している方がいるということも、頭の中に少しでも入れていただければと思います。主張としては、否定するものではありません。しかし、排気ガスとかそういうものは基準が決まっていますので、それ以下であるというはご理解を賜りたいと思います。</p> <p>【市長】言おうとしていることは分かります。では、自然面を考えて東山の方に建てていいですか。山部に建てていいですか。極端な言い方をすればそういうことになるんですよ。自然の美しい空気のきれいなところは、概念的に言えばそういうところしか想定できません。また、行政が行うということは、保育所だけの問題ではありません。街全体の将来展望をあわせて、0歳から5歳までではなく、18歳までの期間は総体的な問題として支援していくのが基本です。富良野は自然豊かです。その豊かな自然に住んでいることは、他の地方から見ても自負すべきことであって、市街地が騒音とか排気ガスが多いと強く言われることは、富良野全体として残念だと感じます。富良野は環境にやさしいまちとしては、屋久島に続いて第2位が3年続いています。そういう意味で観光客がたくさん来ているというのも事実ですから、これからも維持していかなければならない大きな課題です。例えば、ごみの分別もみなさんのご協力がなければ話にもなりません。90%の資源率を保つためには、市民のみなさんのご協力がなければできないことです。行政だけでは全然できません。そういう積み重ねが、全国の評価につながり、北海道でもかなり評価されています。</p> <p>【市長】保育所の箱の中だけで子どもを育てるという考え方は持</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>全体的には富良野はきれいなんだと思うんですけど、やはり交</p>	<p>【市長】保育所の箱の中だけで子どもを育てるという考え方は持</p>

<p>総務部</p>	<p>通事故だとかが心配ですし、中心市街地に保育所を持ってきて子どもにとって良いところというのは、どんなところがありますか？「ここだからこそいいんだ」というところは？</p> <p>緑町に住んで46年になりますが、富良野というまちはありがたいまちだと思います。毎週ごみを出せば必ず回収する。富良野ぐらいしっかりしたところはないのではないかな。除雪にしても、今年は雪が多かったですが、何度も電話をしましたがいち早く対応してくれました。すばらしいまちに住んでいると、私は誇りに思っています。今日はいろいろと話がありましたけど、これからの富良野の将来を考えた構想を考えて、そして発展していかなければならないと思います。</p>	<p>っていません。例えば、富良野小学校の校庭まで歩いて行って、ときには思う存分遊ばせてあげる、それが幼稚園や保育所のあり方ではないでしょうか。園庭だけで遊ばせているわけではありません。今も中央保育所では、図書館まで移動し月に何回か読書会を行っています。見聞を広げることが子どもたちにとって大きなプラスになるんです。家に帰ってお父さんお母さんとの会話や、園児同士の会話だけではなく、もっと広い世界で見聞ができることが、これからの保育所のあり方ではないかと思います。</p>
------------	--	--